

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料2】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R5評価結果(R4実績)				事業費(単位:千円)					第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	実績値(R4)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	決算額(R4)	予算額(R5当初+補正)		
									1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。							
1	R2～R6	企業ガイダンス開催事業	求職者の就業と企業の人材確保を支援するため、UIJターン就職フェアと企業ガイダンスを開催する。	参加企業数(社)	16	0	0	15	3. 地方創生に効果があった	求職を希望する市民の就職促進、市内企業の人材確保を支援することが出来た。県外人材の確保及び定住・移住案内や市観光PRも実施することが出来た。	3. 事業の継続	県外へ進学した大学生がUターンせず、市外へ流出していく傾向があり、人口対策・経済活性化策として、雇用の場の確保として事業継続の必要がある。	3,095	440	0	3,833	4,036	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
2	R2～R6	勤労者生活安定資金貸付金預託事業	勤労者の生活安定に寄与するため、中央労働金庫と協同して融資を行う。	審査基準に合格した勤労者(人)	3	4	3	2	3. 地方創生に効果があった	市と中央労働金庫とが協調して融資を行うことで、勤労者の生活安定に寄与することは、勤労意欲の向上になる。	3. 事業の継続	幅広く市民へ制度の周知を図り、働く者への融資を通じ、勤労者の生活安定に寄与する。	900	2,000	2,000	2,000	2,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
3	R2～R6	商工業事業資金利子補給支援事業	商工業者が経営安定と事業発展のための資金融資を受けた場合、利子を補給する。	経営安定が図られた商工業者(数)	32	13	10	8	3. 地方創生に効果があった	商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。	3. 事業の継続	意欲がある商工業者経営者から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	1,654	1,069	658	307	2,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
4	R2～R6	小口資金融資保証料支援事業	資金調達困難な小規模企業者の担保力を補い、零細小口金融の疎通を図る。	経営安定と事業発展が図られた申請者(人)	9	2	13	6	3. 地方創生に効果があった	資金調達が困難な小規模事業者の信用力及び担保力の不足を補い、零細小口金融の疎通を図り、経営安定に繋がった。	3. 事業の継続	本制度を利用することで市内企業の経営安定や事業発展に繋がることが期待できるため、継続的に支援する必要がある。	229	70	216	133	720	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
5	R2～R6	地域ものづくり企業成長投資支援事業	企業の設備投資を支援し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた企業(社)	6	4	7	5	3. 地方創生に効果があった	企業が設備投資に要する経費に対し一部財政支援を行ったことにより、産業の成長基盤の強化が図られた。	3. 事業の継続	企業の設備投資意欲に応じ、企業の経営安定と事業の発展により、企業振興に繋がるため継続的に支援する必要がある。	20,000	14,000	25,000	20,400	23,500	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
6	R2～R6	農業後継者支援事業	県立農業大学校へ通学している学生を奨学助成金により支援し、農業の担い手育成の一助とする。	新規認定農業者数(人)	13	8	8	14	3. 地方創生に効果があった	市内への就農促進に繋がった。	3. 事業の継続	農業の担い手や後継者の促進に繋がるよう大学と学生との協調を図ってきたい。	288	576	768	576	768	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
7	R2～R6	環境保全型農業直接支払制度支援事業	減農薬に取り組み、地球温暖化防止・生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う団体を支援する。	実施した地区(地区)	1	1	1	1	3. 地方創生に効果があった	環境保全に効果の高い営農活動に対し経済的支援を行うことで、農産物の付加価値の向上(食の安全安心の推進)や販売促進に繋がった	3. 事業の継続	取組内容や制度について分かりやすく周知を行い、取り組みを実施する農業者を増やしていく。	445	889	1,206	1,306	1,523	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
8	R2～R6	農林業政策推進事業	農林業の振興と6次産業化・事業化の推進を図るため、必要な調査研究を行う。	栽培可能な新作目(種)	1	1	0	5	3. 地方創生に効果があった	エゴマ、金胡麻、実山椒、バラ(食用)、亜麻の試験栽培	3. 事業の継続	引き続き、6次産業化に繋がりがちな作目を調査研究するとともに、参加農業者の掘り起こしを行う。	1,455	450	0	315	545	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R5評価結果(R4実績)				事業費(単位:千円)					第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	実績値(R4)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	決算額(R4)	予算額(R5当初+補正)		
									1. 地方創生に非常に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	2. 地方創生に相当程度効果があったか	3. 地方創生に効果があったか	4. 地方創生に効果がなかったか							
9	R2～R6	南アルプスブランド戦略事業	南アルプスブランドの確立により、農業の付加価値を高め、産地間競争力の強化を図る。	貴陽・皇寿・シャインマスカット・あんぽ柿の出荷量(kg)	558,775	644,627	708,575	819,087	3. 地方創生に効果があった	ぶどう、スモモの生産地として、販売額の増加を目標に雨よけ施設や機器導入の補助金を交付し産地競争力の強化を図った。農産物のPR動画の放映や新聞広告等、販路拡大に向けた取組みを実施した。	3. 事業の継続	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。	4,451	15,390	28,338	17,387	115,173	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
10	R2～R6	就農支援事業	農家子弟がリース方式で経営規模拡大のために必要な農業用機械等を導入する時に支援する。	申込をした新規農家子弟(人)	-	2	0	0	4. 地方創生に効果がなかった	事業利用の申出がなかった。	3. 事業の継続	事業の紹介に努めることで事業利用者を増やしていきたい。	-	2,347	0	0	1,200	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
11	R2～R6	担い手支援事業(地域おこし協力隊支援事業)	都市在住で農業の意欲を持つ者から新たな担い手を育成し、移住者獲得を目指す。	協力隊員数(人)	7	7	8	7	3. 地方創生に効果があった	隊員2名の増員を図ることで、担い手の確保に繋がる効果があった。また、今期2年目を終え、農業技術等の習得が図られてきている。	3. 事業の継続	これまでの農業技術の習得に加えて、今後は地域の農作物の紹介や流通販売等へ繋がる支援も考えていきたい。	22,829	18,725	27,359	29,857	30,084	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
12	R2～R6	農業次世代人材投資事業	新規青年就農者の拡大を図るため、経営が安定するまでの最長5年間給付金を支給する。	この事業の対象になった市民等(人)	2	11	9	13	3. 地方創生に効果があった	新規就農者として農業経営開始時の支援に効果を発揮している。	3. 事業の継続	国の事業の見直しに伴い、当該事業は、令和5年度から現行の事業内容を継続しながら、新規就農者育成総合対策事業へ移行する。	18,000	13,547	11,909	16,626	0	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
13	R3～R6	中高年の新規就農者支援事業	50歳から65歳未満の新規就農希望者に対して、就農リスクの軽減を目的に補助金を交付し、高齢化等による担い手不足の解消や遊休農地等の活用を図る。	50歳から65歳未満の新規就農者			3	3	3. 地方創生に効果があった	当市では中高年の担い手確保を促進していることを市内外に知らしめることができている。	3. 事業の継続	事業の紹介に努めることで事業利用者を増やしていきたい。			4,500	4,500	10,500	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
14	R2～R6	南アルプスIC新産業拠点整備事業	南アルプスIC周辺の新産業拠点整備事業用地(旧完熟農園跡地)の再開発を図る。 ※用地買収費は除く	①用地交渉を完了した地権者の割合(%) ②事業用地に参入した企業数(社)	①100 ②0	①100 ②0	①100 ②0	①100 ②2	4. 地方創生に効果がなかった	参入企業が決定し、令和6年中の開業を目標としている。令和5年度においては、事業用地の造成工事を行い、企業により建築を行っていく。	3. 事業の継続	令和6年中の開業に向け事業を進めていく。交通拠点エリアについては、調査研究を行い、今年度中には、事業方針について決定していく	16,029	16,735	21,529	225,948	1,274,391	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室
15	R2～R6	南アルプスIC周辺整備事業	交通利便性に優れ、地域経済の牽引に繋がる可能性の高い南アルプスIC周辺エリアについて、開発可能性を探り、更なる土地利用を図る。	事業用地に参入した企業数(社)	-	0	0	0	4. 地方創生に効果がなかった	検討委員会を設置し、「南アルプスIC周辺高度活用推進計画」を策定した。本計画に基づき、今後、エリア毎の事業化に向けて取り組む。	3. 事業の継続	高度活用推進計画の理念に基づき、IC周辺の土地利用を推進する。	-	4,424	20,387	9,334	10,874	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室
16	R2～R6	新規創業者資金借入補助金支給事業	新規に創業する事業者に借入金を補助し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた商工業者(数)	4	7	3	3	3. 地方創生に効果があった	商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。	3. 事業の継続	意欲がある商工業者経営者(創業後5年未満)から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	344	333	268	246	485	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R5評価結果(R4実績)				事業費(単位:千円)					第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	実績値(R4)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	決算額(R4)	予算額(R5当初+補正)		
									1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。							
17	R2～R6	創業支援事業	地域産業の活性化を図るため、創業支援セミナーやP-1グランプリ(市産果物のピュレを使った新商品のコンテスト)を開催する。	雇用創出数(件)	17	11	15	11	3. 地方創生に効果があった	商工会と連携を図りながら創業支援セミナーを実施し、「個別支援型創業支援テキスト」などを活用して創業を支援する。新規創業者11名に繋がった。	3. 事業の継続	意欲のある女性・若者などが創業・起業を実現できるよう、効果的な支援が必要である。	4,082	1,264	2,232	1,990	3,620	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
18	R2～R6	南アルプス市産業立地事業費助成金交付事業	企業立地を促進し雇用機会の拡大を図り、地域産業の振興及び市民生活の安定に寄与する。	操業開始企業数(社)	1	1	1	1	3. 地方創生に効果があった	企業立地を促進し雇用機会の拡大を図ることで、地域産業の振興と市民生活の安定に繋がった。	3. 事業の継続	工場立地に伴う投資の増加、経営の安定化及び地域経済の活性化と雇用者の拡大も図られており、今後も成果が期待される。	41,681	10,187	0	100,000	21,324	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
19	R2～R6	企業支援誘致推進事業	企業の工場拡張や企業誘致などの支援を行い、産業経済の活性化を図る。	新規工場立地数(数)	2	1	4	4	3. 地方創生に効果があった	積極的な企業訪問や情報発信により企業の動向把握を行い、市内外の企業から新規用地や既存工場の拡張についての相談がある。	3. 事業の継続	企業誘致は地域経済全体の活性化に繋がるため、引き続き効果的な支援が必要。ただし、今後は事業費を特別会計に計上する。	1,155	1,117	1,465	1,072	0	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
20	R2～R6	南アルプス市フルーツ山麓フェスティバル開催事業	観光の柱である山岳観光と果樹観光を県内外にPRし、市民が楽しめるイベントを夏と秋に開催する。	①市外参加者数(人) ②延べ参加人数(人)	①3,000 ②36,000	①500 ②3,000	①600 ②1,300	①1,200 ②7,000	2. 地方創生に相当程度効果があった	コロナ禍や現状の業務内容を踏まえ、イベントの開催を秋と春に分散的時に当初の予定より多く開催したが、イベントが自粛傾向であったためか多くの参加者が訪れた。	3. 事業の継続	現状の観光推進施策が、山や果物の時期を中心に積極的に進めていることや台風による天候不良対策を踏まえ、開催時期を秋から春にかけて行う事としている。	13,518	2,276	4,787	11,093	12,838	II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課
21	R2～R6	観光プロモーション事業	観光を経済の柱に育てるため、交通アクセスの向上を活かしたプロモーション事業を行う。	ユネスコエコパークガイドマップ配布数(部)	-	18,000	20,000	20,000	2. 地方創生に相当程度効果があった	静岡県内を中心として観光PRについては、多くの方に訪れていただき、ガイドマップも大変好評を頂いている。また、美術館や道の駅しらの直売所等にも多くの静岡ナンバーの自動車を訪れており、南アルプスへの来訪意欲の醸成も少しずつではあるが進んでいると思われる。	3. 事業の継続	コストコ出店を踏まえ、現在進めている静岡県内のPRに加え長野方面へのPRも積極鉄器に推進していく。	-	25,105	24,446	28,141	27,538	II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課
22	R2～R6	ふるさとづくり推進事業	市の魅力に触れ愛着を感じてもらえるような着地型観光を企画する団体を支援する。	県外からの参加者数(人)	37	0	0	29	3. 地方創生に効果があった	コロナ禍という事もあり、予定通りの開催が難しい面があったが、事業者も工夫しながら参加者の募集を行い実施した。	3. 事業の継続	今後は、多くの事業者が活用できるよう周知を推進していく。	746	-	-	188	500	II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課
23	R2～R6	シティプロモーション事業	市の魅力を発信し、市の知名度を高めるシティプロモーション事業を行い、交流・定住人口の拡大を目指す。	市ホームページへのアクセス数(上段:トップページ、下段:全体)	-	313,512件 2,708,327件	410,652件 3,228,149件	415,367件 2,950,413件	3. 地方創生に効果があった	SNS等各種媒体で市の魅力を発信し、令和4年度社会人口の431人の転入超過に繋がった。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、SNSを活用した情報発信の多様化・質の向上に取り組んでいく。	-	8,453	0	4,026	3,147	II 新しいひとの流れをつくる	秘書課
24	R2～R6	若者世帯定住支援奨励金事業	定住促進を図るため、市内に土地と建物を新築・購入する若者世帯に購入費の一部を助成する。	申請件数(件)	140	120	162	124	1. 地方創生に非常に効果的であった	令和元年度より100件以上の申請があり、定住策に貢献している(申請件数124件)	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、移住定住人口の増加を図るため支援する必要がある。	32,800	34,500	43,600	36,700	58,100	II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標				R5評価結果(R4実績)				事業費(単位:千円)					第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	実績値(R4)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	決算額(R4)			予算額(R5当初+補正)
									1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。							
25	R2～R6	交流定住促進事業	都市住民と定住・移住・二地域居住に関する情報交換を行い、交流定住人口の拡大を図る。	説明会等への参加者数(人)	32	0	6	15	1. 地方創生に非常に効果的であった	令和元年度より社会増となり着実に成果を出している	3. 事業の継続	移住希望者の相談会の機会を増やし、本市の魅力を伝え、移住定住に繋げる。	134	74	135	4,647	5,980	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
26	R2～R6	空き家バンク事業	空き家の登録・情報提供を行い、定住・移住・二地域居住を促進して地域の活性化を図る。	空き家バンク成約数(件)	13	9	7	5	1. 地方創生に非常に効果的であった	制度の周知をすることで、登録希望数が増加した。(登録数10件)	3. 事業の継続	引き続き事業を継続しつつ、空き家の活用の推進に努めていく。	5,952	6,008	2,496	5,497	6,230	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
27	R2～R6	芦安地区地域おこし協力隊事業	人口減少と高齢化が進む芦安地区に地域おこし協力隊を採用し、地域力の維持強化を図る。	地域活動参加者(人)	140	156	388	403	1. 地方創生に非常に効果的であった	新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中において、創意工夫を重ね、自分たちができることを考え地域住民に活動内容を伝えることができた。	3. 事業の継続	芦安地区は人口の減少と高齢化が問題となっているが、地域おこし協力隊の若い力と活力、情報発信力はとても貴重であると考えている。	12,001	3,979	7,616	7,974	4,193	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	芦安窓口サービスセンター
28	R2～R6	住宅リフォーム等総合支援事業	住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市内業者によるリフォーム工事の一部を補助する。	リフォーム住宅の申し込み数(件)	60	59	60	59	1. 地方創生に非常に効果的であった	市民の住環境の向上と市内産業の活性化に寄与した。	1. 追加等更に発展させる	市民ニーズが高まり事業拡大が求められている。さらに事業を発展させる必要がある。	6,000	5,900	6,000	5,900	8,000	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	管理住宅課
29	R3～R6	結婚新生活支援事業	新婚世帯に対して、結婚に伴う新生活の費用(住宅取得費・家賃・引越)を補助する。	市内に居住する新婚世帯(令和3年度の場合、令和3年1月1日以降に婚姻した夫婦で、夫婦ともに39歳以下、世帯所得400万円未満の世帯)			16	31	1. 地方創生に非常に効果的であった	制度の周知をすることで、申請件数が増加した(申請件数31件)	3. 事業の継続	引き続き事業を継続することで、実際に本市を体験し、将来的に定住に繋げるために支援する必要がある。			4,460	8,081	13,500	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
30	R2～R6	地域子育て支援事業	子育て支援の充実を図るため、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業を実施する。	利用者(人)	6,500	6,500	3,832	17,511	1. 地方創生に非常に効果的であった	入所が困難な未満児の一時的な預かり先、緊急性の高い保育に対して、効果的であった。	3. 事業の継続	今後も未満児の一時的な受け入れ先として、ニーズが高まると考える。	41,356	47,541	48,014	67,184	56,950	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
31	R2～R6	子ども用品貸出事業	子育て世帯の負担軽減のため、希望者にベビーベッドとチャイルドシートを無料で貸し出す。	安全に利用できた人(%)	100	100	100	100	1. 地方創生に非常に効果的であった	出産後、比較的早く不必要になる新生児用品を貸し出すことで、子育て世帯の経済的負担を軽減している。特に車社会である本市において、チャイルドシートの貸し出しは高い評価を得ている。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、子育て世帯の経済的負担の軽減と出産・子育てに対する安心感を創出する。	2,758	3,160	3,165	3,209	3,793	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
32	R2～R6	子ども医療費助成事業	18歳までの子どもの医療費を助成し、子育て家庭の負担軽減と子どもの保健福祉の増進を図る。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	45.2	52.1	50.9	53.8	1. 地方創生に非常に効果的であった	子どもに係る医療費を18歳まで助成することで、子育てに対する経済的不安を軽減し、安心して子どもを産み育てる環境を構築している。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、子育て世帯の安定的な生活に貢献する。	344,128	286,601	324,439	333,218	345,010	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
33	R2～R6	病児・病後児保育事業	子どもの保健福祉の増進を図るため、病児・病後児保育を行う私立保育園を支援し、受入れ自治体に負担金を支出する。	利用者数(人)	300	385	472	561	1. 地方創生に非常に効果的であった	市内および市外からの利用者が増加している。制度の周知により、登録者数および利用者数が年々伸びている。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、利用者ニーズに応え、保健福祉の増進を図る。	14,565	18,369	17,550	19,514	24,073	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R5評価結果(R4実績)				事業費(単位:千円)					第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	実績値(R4)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	決算額(R4)	予算額(R5当初+補正)		
									1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。							
34	R2～R6	児童手当給付事業	子どもの健全育成を社会全体で支えるため、中学生までの児童を養育している者に手当を支給する。	支給した児童の割合(%)	98	99	99	99	1. 地方創生に非常に効果的であった	食費等の物価高騰の影響で生活が特に厳しくなっている子育て世帯に児童手当を支給することにより、子どもたちの健やかな成長と安心安全な暮らしに寄与している。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、子育て世帯の安定的な生活に貢献する。	1,183,326	1,153,950	1,132,840	1,118,200	1,156,450	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
35	R2～R6	新生児おむつ代支給事業	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、乳児の紙おむつ等の購入を補助する。	子育てが楽しいと回答する母の割合(%)	89.3	91.2	88.6	88.6	3. 地方創生に効果があった	おむつ代支給事業は、子育てを担う親の経済的支援の一助であり、子育てしやすい南アルプス市に繋がる一つの事業である。	3. 事業の継続	本市独自の子ども立て支援事業の一つであり、保護者からもおむつ代支給については、「経済的に助かっている」という声も聴かれている。今後も、子育て支援の一助として継続していくことが必要である。	11,485	11,826	11,719	12,025	12,240	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	健康増進課
36	R2～R6	男女共同参画啓発事業	男女共同参画社会の必要性について理解を深めようというため、啓発活動を行う。	男女共同参画の推進が重要だと思ふ市民の割合(%)	64.5	64.7	67.3	65.2	3. 地方創生に効果があった	市民や職員に向けた研修の実施や、興味関心を持つよう女性のキャリアアップ講座を開催した。また、情報誌を作成し広く周知啓発に努めた。	3. 事業の継続	国・県の計画と整合性を取りながら本市の計画が策定されている。その計画に沿った市民向けの継続事業が必要と考える。	169	222	344	238	302	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
37	R2～R6	ハーモニーフォーラム開催事業	男女共同参画社会の実現に向け、市民の理解と関心を深めるため、フォーラムを開催する。	男女共同参画の推進が重要だと思ふ市民の割合(%)	64.5	64.7	67.3	65.2	3. 地方創生に効果があった	フォーラムという形式にこだわらず、ワークショップ形式にて実施。市民が中心の推進会議委員から市民に向けた男女共同参画の重要性を伝える場として効果的であった。	3. 事業の継続	市民のために学びの機会は大変な機会である。今後も継続が必要である。	190	166	110	119	233	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
38	R2～R6	人権擁護委員活動事業	人権相談や啓発を行う人権擁護委員の活動を支援する。	①相談会に訪れた市民の数(人) ②人権問題に理解を深めた市民の割合(%)	① ②	(相談者なし)	(相談者なし)	(相談者なし)	3. 地方創生に効果があった	イベント会場等にて人権擁護委員の活動内容の周知と、人権擁護の必要性を深めるための啓発活動は、有効な手立てである。	3. 事業の継続	相談会に相談者がいなくとも、身近な場所に相談できる場があることの大切さと、イベント等における啓発活動を継続し行う必要がある。	90	186	173	177	811	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
39	R2～R6	防災リーダー養成講座協働事業	地域防災力の強化を図るため、地域防災活動を普及啓発・指導できる防災リーダーを育成する。	①市防災リーダー養成講座修了者数(人) ②甲斐の国防防災リーダー養成講座修了者数(人)	①40 ②5	①64 ②5	①35 ②10	①37 ②10	1. 地方創生に非常に効果的であった	防災リーダーが増加することで多くの自主防災会で訓練や防災対策が専門的知識により充実したことで安心安全な地域づくりに非常に効果的であった。	3. 事業の継続	全ての自主防災会に防災リーダーがいる環境をつくれるよう市として事業を継続する。	125	126	175	183	260	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	防災危機管理課
40	R2～R6	子ども若者ささえ愛基金事業	子ども及び若者の未来を応援するために活動している団体等に助成金を交付する。	参加人数(人)	-	2,246人	3,745人	4,843	3. 地方創生に効果があった	住民の地域福祉活動として行う学習支援、子ども食堂、その他体験交流の場の活動に助成している。子ども若者の孤立防止と生活支援、住民相互の助けあいと居場所・役割の創出につながっている。	1. 追加等更に発展させる	子ども食堂については、助成上限日数を超える活動団体があり、自己資金で運営している。食料品等の価格高騰も重なり負担が大きいため、支援の拡充を検討していく。	-	731	821	840	2,500	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R5評価結果(R4実績)				事業費(単位:千円)					第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	実績値(R4)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	決算額(R4)	予算額(R5当初+補正)		
									1. 地方創生に非常に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	2. 地方創生に相当程度効果があった	3. 地方創生に効果があった	4. 地方創生に効果がなかった							
41	R2～R6	生活支援体制整備事業	単身や夫婦のみの高齢者世帯や認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、ボランティア等の生活支援サービスを担う事業体と連携をしながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を図る。	①生活支援コーディネーター(人) ②協議体の設置数(箇所)	①2 ②16	①2 ②16	①2②16	①2②16	3. 地方創生に効果があった	令和5年4月1日現在、市内に53の第3層協議体が創設され、住民による外出支援、百歳体操、見守り活動、居場所づくりなどさまざまな支えあいの活動を行っている。多世代の交流活動も増加し、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。	3. 事業の継続	地域の課題やニーズに対する活動を行う第3層協議体を市内全域での創設を推進するとともに、53の第3層協議体の活動を支援していく。	7,926	8,970	9,338	9,192	10,051	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	介護福祉課
42	R2～R6	CSW配置事業	地域の身近な相談支援機関として、個別支援や様々な地域課題の解決に向けた取り組みをコーディネートをする専門員としてコミュニティソーシャルワーカーを配置する。	相談件数(件)	352件 内訳 135件(新規) 217件(継続)	771件 内訳 597件(新規) 174件(継続)	746件 内訳 322件(新規) 424件(継続)	520件 内訳 205件(新規) 315件(継続)	3. 地方創生に効果があった	制度や分野を問わず住民の生活課題に対応する福祉総合相談体制における、身近な地域の相談窓口として、まだ支援につなげていない人へのアウトリーチ支援、困難を抱えながらも生活する対象者となつて引き続きの支援に取り組んだ。	3. 事業の継続	令和7年度を目標として実施する「重層的支援体制整備事業」を見据え、専門機関や制度との連携、住民助けあい活動との協働を進め、役割を精査しながら事業内容を充実していく。	25,000	25,000	25,000	25,000	19,000	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課
43	R2～R6	幸せ実感南アルプス市健康リーグ事業	健康からまちづくりを推進し医療費の抑制につなげるため、補助金事業とポイント制によるウォーキング事業を通じて健康意識の高揚を図る。	①ポイント引換数(枚) ②補助金交付数(件)	①2,784 ②1	82.84%	①2,049 ②1	①1,711 ②2	3. 地方創生に効果があった	歩くことによって健康ポイントが付与されお買物券と引き換える。市内の健康リーグ加盟店で利用でき地域の貢献に繋がる。	3. 事業の継続	市民の健康づくりに取り組む団体・個人へ継続して支援する必要がある。	7,007	9,136	6,924	6,587	10,499	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
44	R2～R6	健診(検診)事業	疾病を早期に発見し早期治療につなげること及び更なる健康の増進をはかるため、各種健診(検診)を実施する。	①健診申し込み延べ人数(人) ②健診申し込み実人数(人)	①72,311 ②20,806	①67,997 ②19,818	①64,525 ②19,695	①67,337 ②19,842	3. 地方創生に効果があった	健診申込者数・受診者数ともに前年度よりも増加した。市民一人ひとりが健診結果から自らの健康状態に関心を持ち、生活習慣を見直し、生活習慣病の発症を防ぐためには必要な事業である。	3. 事業の継続	生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組み、健康の保持・増進に繋げる。	219,826	209,891	203,209	214,537	242,037	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
45	R2～R6	救急医療体制整備運営支援事業	休日夜間の当番医の日程調整等の業務を中巨摩医師会に委託し、救急医療体制を確保する。	休日夜間救急医療受診人数(一次救急)(人)	4,259	2,609	2,655	2,957	3. 地方創生に効果があった	市民の救急医療受け入れ体制を確保することで、市民が安心して医療が受けられることに繋がる。	3. 事業の継続	地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	1,598	1,591	1,585	1,585	1,584	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
46	R2～R6	救急医療確保対策事業	救急医療整備のため、中巨摩医師会へ在宅型急患事業の委託、市内二次救急病院へ補助金交付を行う。	休日夜間救急医療受診人数(一次救急)(人)	4,259	2,609	2,655	2,957	3. 地方創生に効果があった	医師会への委託料・不採算の深夜帯を担う3病院への運営支援を行うことで地域の救急医療体制の確保を図る。	3. 事業の継続	地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	36,755	38,038	37,718	38,078	42,752	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
47	R2～R6	交通政策推進事業	市民の足としての公共交通を確立し、高齢者等の外出機会の創出と地域の活性化を図る。	①利用者(人) ②走らせた本数/日(本)	①52,763 ②50	①54,394 ②50	①60,605	①72,533	3. 地方創生に効果があった	利用者は年々増加している。特に通学・通勤者の利用が多くみられる。	3. 事業の継続	今後も、本市の交通事情と利用者のニーズに沿った交通計画が必要である。	92,634	104,982	105,454	115,772	140,627	IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R5評価結果(R4実績)				事業費(単位:千円)					第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	実績値(R4)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	決算額(R4)	予算額(R5当初+補正)		
									1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。							
48	R2～R6	路線バス支援事業	生活に必要なバス路線を維持するため、自主運営バス業務を委託し、赤字バス路線事業を補助する。	①過去1年間の路線バス利用者(%) ②事業費に対する本市の負担割合(%) ③事業者の事業収益における補助金の割合(%)	①12.3 ②12.4 ③19.7	①9.5 ②14.4 ③28.0	①8.1 ②14.3 ③30.9	①10.8 ②12.9 ③24.3	3. 地方創生に効果があった	自主運営バス・赤字バス等の支援により、市民の生活に必要な交通手段が維持された。	3. 事業の継続	生活に必要なバス路線であるため、今後も支援は必要である。	12,651	14,305	14,046	13,444	14,521	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課
49	R4～R6	自然エネルギー導入促進事業	地球温暖化防止につながる自然エネルギー導入を促進するため、市民が理解を深められる施策を実施する。	自然エネルギーへの関心率	82.7%	72.0%	73.3%	78.0%	3. 地方創生に効果があった	年々、自然エネルギーへの関心度が高くなり、節電意識に繋がっている。	3. 事業の継続	自然エネルギーへの関心が高まることにより、地球温暖化防止に繋がるため、今後も事業継続が必要である。	390	98	92	158	206	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	環境課
50	R4～R6	ユネスコエコパーク推進事業	南アルプスユネスコエコパークの推進体制確立を目指し、効果的な普及啓発事業を実施する。	ユネスコエコパークへの関心が高まった割合			95.0%	91%	3. 地方創生に効果があった	令和3年度より開始となった小学校でのユネスコエコパーク学習支援事業が定着したことは、成果であった。学習内容についても関心が高まったと回答した児童が9割をこえており効果があったと言える。	3. 事業の継続	令和6年度、ユネスコエコパーク登録10周年を迎えるにあたり、あらためて市内内外へ向けて推進していく必要がある。まずは、庁内から意識が必要である。	5,494	2,488	6,713	8,888	10,471	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	観光推進課
51	R4～R6	楡形山アヤマメ保全対策事業	県自然記念物である楡形山アヤマメ群生の復活を目指し、保全対策と希少植物の保護を推進する。	保護策内のアヤマメの開花		13200本	10503本	6599本	3. 地方創生に効果があった	成果指標であるアヤマメの花の本数については自然環境の影響もあり減少しているが、楡形山の保全活動についても希少種の保護を特に推進している。	1. 追加等更に発展させる	楡形山の保全活動は、アヤマメだけでなく、楡形山のもう一つの象徴である原生林の保護についても課題となっている、アヤマメだけでなく、全体を保全していく必要がある。	495	2,799	1,609	1,194	5,713	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	観光推進課
52	R4～R6	希少動植物環境保全事業	高山帯や楡形山等の希少動植物乱獲防止のため、パトロールや登山者へのマナー指導を実施する。	①パンフレット配布数 ②確認種類			①300 ②48	①300 ②40	3. 地方創生に効果があった	希少動植物については、市民を対象として、研修会を開催し理解を深めた。	3. 事業の継続	広河原⇒北沢峠間が2019年の台風による林道の崩落により不通となって以来、人が入らない区間はシカの食害が深刻化している。また、そのエリアにかいない希少種の保全も重要となる。パトロール等は必要である。	701	1,042	662	2,692	3,464	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	観光推進課